

技術セッション

テーマ：溶接接合技術における勘所と技術動向

(関西支部行事)

【開催要旨】あらゆる産業界における金属の接合に欠かせないアーク溶接は、コストパフォーマンスに優れ、安定した接合品質の確保に欠かせない、ものづくりにおける基盤技術である。アーク溶接法では、溶接機器・シールドガス・溶接材料といった各メディアが三位一体で進歩することで、基盤技術としての揺るぎない地位を維持している。各メディアにおける、溶接接合の高能率化・高品質化に向けた勘所と、その技術動向について講じる。

講演プログラム（各30分）

(1) 溶接で使える数値化したシールドガス

岩谷産業㈱ 吉田 佳史

(2) 最新の溶接ソリューションについて

パナソニック㈱ 廣田 幸伯

(3) 溶接機器の基礎と最新技術について

㈱ダイヘン 門田 圭二

(4) アーク溶接における材料・プロセスの最新技術

㈱神戸製鋼所 森本 朋和

(5) ガスシールドアーク溶接の基礎とソリューション

日鉄溶接工業㈱ 志村 竜一，水本 学，中澤 博志，齋藤 雅哉，○大村 大輔

参加費：無料（テキスト無し）。ただし、全国大会への参加申込みが必要です。

参加方法：溶接学会ホームページより参加申込みしてください。

(<https://www.jweld.jp/>)

備考：すべての講演動画を全国大会開催期間中（2020年9月9日（水）9:00～11日（金）17:00）はいつでも視聴できます。